枚方市と枚方市職員労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和6年(2024年)6月13日(木) 午後7時40分～午後8時45分
2. 場 所 枚方市職員会館 大会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約30名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、
教育政策課長、上下水道総務課長、市立ひらかた病院総務課長、
書記(人事課・職員課 課長代理)
4. 課 題 「2024年予算・人員要求書」に基づく交渉(1回目)

<交渉内容要旨>

I. 必要な人員の確保について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 切実な職場の実態を踏まえた人員の確保が必要であると考えているが、どのように認識しているのか。 ・ 令和6年度末の定年退職数の見込みを教えてください。また、再任用職員で更新しない職員や早期退職者の人数はどの程度見込んでいるのか。 現在の人員不足を解消するためにも、退職予定数を上回る採用をすべきであるが、どのように考えているのか。 ・ 保育職場では、病休者や育休者により、正職員が少なくなっている。会計年度任用職員の配置もあるが、配置の時間では人員が足りず、他の園の職員にも対応してもらっている状況である。人員不足で、プールの監視ができず、プールが開催できないことも考えられる。子どもたちの安全を守るためには、人員が必要である。また、保育士が日によって変わることは、保護者にとっても不安なことである。正職員を配置するなど、保育が成り立つ人員体制にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人員の確保は、計画的・継続的に行うことが重要であり、さらに検討していく。 ・ 令和6年度末の定年退職者数は、医療職、教育職を含め55人、再任用更新限度を迎える職員は、外郭団体等を含め23人であり、早期退職や普通退職については、医療職を含め60人程度見込んでいる。採用数について精査・検討を重ね検討していく。 ・ 各職場の声や実態を見極め、引き続き適正配置に努めていく。

・ 巡回相談業務について、業務量も多く、人員が不足保育所・幼稚園を十分に巡回できていない。また、中間層の職員がいない状況であり、業務のスキルを継承していくためにも、正職員の採用を求める。また、図書館については、若年層の退職者が増えているなど、人員が不足、問い合わせにも対応できず、十分な市民サービスができない大変な状況であり、人員の補充が必要である。

・ 採用については、計画的・継続的に行うことや年齢構成のバランスも考慮し、さらに精査・検討を行う。